

# むくのきだより

4月号

令和3年4月7日

港区立赤羽幼稚園 園長 宮崎 直人



むくのき つよいき やさしいき どんどのびろ どこまでも

園長 宮崎 直人

暖かな春の日差しが嬉しい季節となりました。菜の花や森の小道の花々も暖かい春の光をいっぱい浴びて輝いています。

お子様のご入園、ご進級おめでとうございます。本年度は16名の新入園児を迎え、4歳児年少さくら組16名、5歳児年長ゆり組19名、全園児35名でスタートしました。子供たち一人ひとり、それぞれ希望に胸をくくませて入園・進級し、希望に満ちた新年度を迎えられたことと思います。

港区立赤羽幼稚園は、昭和45年に開園し、昨年度、創立50周年を迎えました。今年度も、これまで培ってきた本園の歴史と伝統を重んじ、未来に継承するとともに、新しい時代に即した幼稚園経営を進めてまいります。そこで、人権尊重の精神を基調とし、健康で知性と感性に富み、たくましく生きる人間性豊かな幼児の育成を目指し、以下のように本園の教育目標を設定いたします。

- 人や自然を愛し、心の豊かな子 「やさしい子」
- 好奇心をもち、進んで考え、創意工夫する子 「かんがえる子」
- 健康で明るく、素直に言葉や態度で表現する子 「げんきな子」

幼児期の教育は、人格形成の基礎を培う重要なものです。幼児の発達の特性を踏まえ、基本的な生活習慣の定着とともに、人と関わる力や思考力・判断力・表現力の芽生え、規範意識の芽生えの育成等の充実が必要であると考えます。

そこで、一人ひとりの発達の特性を踏まえ、基本的な生活習慣を身に付け、生活や遊びの中で主体的に考え、行動することができる幼児を育成することができるよう、以下の基本方針のもと、教育活動を展開してまいります。

## (1) 社会に開かれた教育課程

地域とともにある幼稚園として、昨年度設置した地域学校協働本部の機能を生かし、近隣の教育資源を活用した教育活動を行う。幼稚園、保護者、地域が相互に連携、協働を図りながら、幼稚園が家庭と地域をつなぐ役割を果たす。

- ① 園外活動や交流活動等、地域社会と関わる活動を通して、幼児が地域の環境や身近な人に親しみ、関わりを深め、人への愛情や信頼感を育む。
- ② 様々なツールや機会を活用した情報発信や、保育参観、懇談会、評議員会、アンケート調査の実施等を基に、家庭や地域と連携したカリキュラム・マネジメントを推進する。

## (2) 挨拶や礼儀を重視し、道徳性や規範意識の芽生えを培う教育

園生活の様々な場面を通して、友達と楽しく過ごすために必要な約束やきまりに気付かせ、自己発揮と自己抑制の調和のとれた発達を促す。

- ① 人との関わりや社会生活の中で必要な礼儀や挨拶、感謝の心を育む教育を推進する。
- ② よいことや悪いことがあることに気付かせ、自分で考えて行動することを促すとともに、思いやりの気持ちを育む。

## (3) 小学校教育への円滑な接続に向けた幼稚園教育の充実

赤羽小学校と併設であることを生かし、子供同士の交流や教職員の連携を充実させるとともに、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりとして、子どもの発達や学びの連続性を意識した教育を推進する。

- ① 三田アカデミーの小・中学校（三田中学校、芝小学校、御田小学校、赤羽小学校）、近隣保育園と情報交換や組織的・計画的な連携を継続し、幼稚園教育における主体的・対話的で深い学びについて発信するとともに、幼・小中一貫教育をさらに推進し、自己肯定感や生きる力の基礎を育む教育の充実を図る。
- ② 幼稚園の生活や遊びの中で、友達と互いの考えを伝え合い、協同しながら目的の実現に向けて主体的に取り組む態度を育成し、自立心や物事をやり遂げようとする気持ちを育てる。

教職員一同、今年度も、「チーム赤羽」として、子供たちのために、全力で職務にまい進してまいります。前述したように、子供たちの健やかな成長には園と家庭との密接な連携が欠かせません。家庭や地域との絆を深め、しっかりと手を携えて進めていきたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。